

3-10			
主題	ユニットリーダーが事業計画の発表を行う意義に関する研究		
副題	ユニットリーダー事業計画発表会の効果検証		
キーワード1	ユニットケア	キーワード2	人材育成
		研究(実践)期間	3 ヶ月
法人名	社会福祉法人 ファミリー		
事業所名	特別養護老人ホーム ハピネスあだち		
発表者(職種)	酒井昌人(介護リーダー)		
共同研究(実践)者	小比類巻隆(介護リーダー)、井上禎久(介護リーダー)、内山彰吾(生活相談員)		
電話	03-5839-3630	FAX	03-5839-3632
今回発表の事業所やサービスの紹介	当施設は 2006 年に足立区江北地区に開設したユニット型特別養護老人ホームです。定員は 150 名、10 名定員のユニットが 15 ユニットあります。高齢化率 31% という地域において、地域住民に安心して生活していただけるよう「地域福祉の拠点」となる施設を目指して取り組んでいます。		

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

当施設の開設当初は、施設全体の、あるいは特別養護老人ホーム部門での事業計画を年度ごとに作成していたものの、ユニット毎の事業計画は立てていなかった。ユニット職員は自分の担当するユニットの目標があいまいだったため、日々の業務に追われるばかりで、ユニットのビジョンを描くことができていなかった。

そこでユニットリーダーが自ユニット状況を把握し、目標をたて、目標を達成するために 2010 年より各ユニットリーダーが事業計画を立て、職員の前で発表を行った。

ユニットリーダー事業計画発表会が開始され 6 年目となる本年度、改めてユニットリーダー事業計画発表会に関する意義を考え、よりよくするためにはどのようにすればいいのかを検証することとした。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

ユニットリーダーは中堅職員が多い。介護を行う技術はある程度身に着けているが、自分の考えをまとめ、声にだして伝えると言う技術は、機会に巡り合えず、不足している職員も多い。

今回、ユニットリーダー事業計画発表会参加者の意識調査を行うことで、ユニットリーダーあるいは聴講する一般の職員が事業計画発表会に関し、どのように考えているのかが明らかになると考えた。

これにより、職員の意向を取り入れ、より効果の高い事業計画発表会が行えるようになるのではないかと期待した。

《3. 具体的な取り組みの内容》

ユニットリーダー事業計画発表会を以下の通り開催した。

日時：2016年5月10日（火）

2016年5月16日（月）

いずれも18:15～19:45

対象：全職員

発表者：特養ユニットリーダー15名

ショートステイユニットリーダー
2名

デイサービスリーダー1名

（計18名を9名ずつ2回に分けた。）

発表時間：6分

参加者にアンケートを配布し、即日回収とした。

参加者は10日が38名、16日が36名の合計74名、アンケートは合計で64名の回収となった。

《4. 取り組みの結果》

ユニットリーダー事業計画発表会の満足度に関しては回答者のうち84%が「とても満足」「満足」と回答するなど、高い満足度がうかがえた。

満足した理由に関しては、「役立つ情報が得られた」「自分の成長につながった」等の回答が多かった。

また、自分自身の所属しているユニットの目標に関しての理解は76%の参加者が「深まった」と回答した。

以上のことから、ユニットリーダー事業計画発表会は多くの参加者にとって有意義な研修となっていることが判明した。

また、発表したユニットリーダーの意見としても自分の成長につながっているとの意見が多く聞かれた。

ユニットリーダー事業計画発表会は職員の育成に効果的であることが裏付けられた。

《5. 考察、まとめ》

今回、初めて参加者に対してアンケートによる意識調査を行ったが、「人前で話をすることが苦手」と感じる職員もいるが、アンケートの結果からは多くの職員がユニット事業計画発表会を好意的に受け止めていた。

「発表時間が短い」等の改善を求める意見を知ることでもできたので、今後これを活かして更に職員の成長に結び付けられるような取り組みを行っていきたい。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究を行うにあたり、関係者に口頭にて確認をし、本研究以外では使用しないこと、それにより不利益が被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

廣岡隆之（2016年）,介護施設・事業所の人材確保 定着獲得育成具体策, 日総研

《8. 提案と発信》

目標をたて、達成に向けて取り組むことで、やるべきことが明確になり、取り組み終了後に振り返り、効果を見直せるようになります。このことは職員の育成にも大きな効力を発揮します。

当施設では、更に事業計画を他職員の前で発表することで、自分の事業計画を見つめることができ、更に他ユニットの事業計画を知ることによって相乗効果が発揮すると考え、ユニット事業計画発表会を開催するに至りました。

今回の調査研究で改めて、ユニット事業計画発表会に職員が満足度を感じていることが分かりました。発表の準備する時間を設ける必要がある等、開催するためには検討事項もありますが、多くの効果を生み出すことができます。是非、皆様の施設でも開催してみたいはかがでしょうか。